

努力事項解説 その2 (小学校特別活動)

前回から、活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開するために課題とされていることについて、それを具体的にどのようにしていけばいいか考えています。

十分展開するために、次の課題を解決していきましょう!

3 学級活動の1時間ごとの指導計画はありますか?

これは

学級ごとの学級活動の年間指導計画、及び、学級ごとの学級活動の1単位時間の指導計画を作成することが求められています。

ということです。

学級活動を、その趣旨を踏まえて確実に実施していくためには、「学級ごとの年間指導計画」並びに、「学級ごとの学級活動の1単位時間の指導計画」を作成し活用することがとても大切です。もし、これらが作成されていない場合は、年度途中でも作成するようにしていきましょう。

作成に当たっては、全体計画を踏まえ、特別活動の目標を受けて、学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮して、「指導する内容」、「取り上げる議題例」や「題材」、「授業時数」などの項目を設定して作成します。

具体的には、〔低学年〕、〔中学年〕、〔高学年〕ごとの内容を踏まえ、発達の課題や道德教育における内容項目、重点等を考慮し、各学校における児童や家庭、地域の実態に応じて、学校としての年間指導計画を作成し、それを基にして学級の実態や学級集団の育成上の課題を踏まえて「学級ごとの年間指導計画」を作成します。次に、この学級ごとの年間指導計画から、「学級ごとの学級活動の1単位時間の指導計画」を作成するようにします。

(小学校学習指導要領解説特別活動編P41より)

指導計画作成に関連することとして、以下のことにも配慮してください。

活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」の時間の議題がすでに決められ、それが「学校としての年間指導計画」や「学級ごとの年間指導計画」に記載されていませんか?

活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」は、児童の自発的、自治的な活動です。したがって、ここで扱う内容や議題は、教師の適切な指導の下、児童が「計画委員会」等で決めていくものです。したがって、年間指導計画の活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」の欄には、児童の活動として望ましい内容(予想される議題例)や、時期、方法、時数などについて、大まかな枠組みのみを掲載する程度とし、実際には、計画委員会の児童などによってより具体的な指導計画が立てられ実施することができるような弾力性、融通性に富むものにすることが大切です。

(小学校学習指導要領解説特別活動編P42より)



次回は、4の「教室に学級活動コーナーが設けられていますか？」について考えていきます。

7月5日（金）頃アップの予定です。